

## 生涯にわたる女性研究者共助システムの構築

(実施期間：平成18～20年度)

実施機関：奈良女子大学（代表者：野口 誠之）

### 課題の概要

- ① 学内に管理人のいる安全な保育室・学習室を設置する。搾乳・授乳室を充実させる。地域住民・教職員・学生等からなる共助型育児支援ネットワークを構築し、育児の情報交換、相談体制を充実させるとともに保育者を確保し、二次保育や休日保育等を行う。自治体や民間の育児支援グループと連携し、研究者の実情に則したきめ細やかな共助型支援システムの充実を目指す。
- ② 出産・育児・介護等に関わる女性研究者の教育研究活動を支援するために、博士後期課程修了者等を教育研究支援員として採用する。
- ③ 女性学生－女性研究者交流キャリアサロンを立ち上げる。
- ④ 自治体と連携して小中高生対象の科学講座・講演会等を開催する。

#### (1) 総合評価（所期の計画と同等の取組が行われている）

小規模大学の制約の中で、地方都市の中核大学としての特質を活かし、地域連携の活用による効果的な施策を講じた取組であり、地方の中小規模大学のモデルとして評価できる。女性研究者のニーズに基づいた各取組も着実に実施され、女性研究者の環境も所期の予定通り改善されている。また、機関としての各取組への継続的な姿勢も評価できる。女性教員比率の所期の目標は達成できていないが、課題実施期間中、高い教員採用比率を維持しており、今後も機関の努力を継続され、早期に目標を達成されることを期待する。

<総合評価：B>

#### (2) 個別評価

##### ①目標達成度

大学院生数の増加、就学・就労面での仕組み整備など、所期の計画どおりの取組が行われ、成果が得られている。「ならっ子ネット」に代表される地域子育て支援組織との連携による取組について、所期の計画を上回ると高く評価できる。女性教員採用比率は高く推移しているものの、女性教員比率の所期の目標は達成できていないため、更なる努力を期待する。

##### ②取組の成果

女性研究者の育児等に配慮したシステム改革が行われ、女性研究者の環境整備状況はほぼ妥当なものとして評価できる。特に、地域連携の子育て支援システムは良く機能しているものと評価できる。また、学内委員会等の意思決定機関の女性比率の増加、女性研究者の上位職階への昇任や学外への輩出、受験者の増加等の成果が挙がりつつある。しかしながら、女性教員比率の増加には未だつながっていないので、アクションプランの制定に加え、取組を継続的に行うことを期待する。

##### ③取組の妥当性・効率性

女性研究者のニーズを踏まえた取組が行われ、女性研究者を取り巻く環境は大幅に改善している。特に、「ならっ子ネット」等の保育支援では、単なる学内の保育室設置にとどまらず、地域の

子育て支援グループとの連携を進めることによって、保育園へのお迎え、預かり保育など、利用者のニーズに応えたきめ細かいサービスに取組み、ICT 技術を組合せた web システムを構築している。このような取組に加えて、科学講座の環境整備、大学院生支援など、地域に密着した取組は、地域連携の有効性を示すとともに、地域に根ざした小規模大学の優れたモデルとなり得ることから、高く評価できる。

#### ④波及効果

地域連携による、女性研究者支援や女性のキャリアパス形成等の活動は、地方にある中小規模大学の参考になり、評価できる。地域での交流強化は、機関のみならず地域と相互に益するところが多く、高く評価できる。地域連携での課題も見られるため、今後に向けてより良い成果を生み出すよう改善するとともに、このプロセスを情報発信することによる一層の波及効果を期待する。

#### ⑤実施体制の妥当性

女性研究者共助支援事業本部を中核とした全学体制で、機能的に本取組を推進している。さらに、地域との連携を積極的に進めることで、小規模大学単独では行えない施策を効果的に実現している。人材育成などにも成果が得られており、実施体制は妥当であると評価できる。

#### ⑥実施期間終了後における取組の継続性・発展性

女性研究者共助支援事業本部を拡充し、本取組を継続的に発展させようとしており、高く評価できる。小規模大学で予算規模が小さいにもかかわらず、取組の効果を分析の上、全ての事業を継続するという大学の姿勢を明確に示し、予算措置を行っている点も高く評価できる。また、5年後の目標女性教員比率を教授会にて決定するなど、今後の取組を担保する工夫もみられる。女子大学として、ポジティブアクションの目標をより高い数値に設定するなど、今後の更なる取組の進展を期待する。

### (3) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組の成果	取組の妥当性・効率性	波及効果	実施体制の妥当性	実施期間終了後における取組の継続性・発展性
B	b	b	a	a	b	a